

# ふ きた さ と 吹田の郷

◆ 発行/すいた市民環境会議 ◆ 代表/小田忠文 ◆ 事務局/〒564-0032 吹田市内本町2-18-8 ☎・FAX 06-6-319-0630 小田(午後 6時以降)

◆ 年会費/個人会員1000円 法人会員/10000円 ◆ 振り込み先/00980-28845 すいた市民環境会議

## 鳥 藤前干潟日帰りバスツアー / ご案内・募集 鳥

名古屋港にある藤前干潟は、シギ・チドリ類の渡りの中継地点として日本に残る最大級の干潟です。藤前干潟には「ゴミ埋立予定地」の計画がありました。しかし、地元の人々の、10年以上にわたる「干潟保全運動」の甲斐があって、愛知県、名古屋市ともに藤前干潟への埋立計画を断念しました。

当日は『藤前干潟を守る会』が「いきもの祭り」を計画しています。

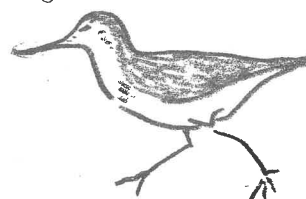
干潟が守られた祝いの祭りになるでしょう。ちょうど渡りの時期です。  
鳥たちを見に行きませんか。干潟が大きく現れる大潮の時に合わせました。

|        |  |       |                |
|--------|--|-------|----------------|
| 実施日    | 1999年 4月18日(日) 雨天決行                              |       |                |
| 時 間    | 集合時間   | 午前 8時 | 解散時間 午後 6時(予定) |
| 集合場所   | 南千里吹田市庁舎前 (緑化公園事務所前)<br>阪急・南千里駅下車 南西線路沿い         |       |                |
| 費 用    | 会員 7500円 / 非会員 8000円 / 子供(中学生以下) 6000円 --- 昼食を含む |       |                |
| キャンセル料 | 申し込み締め切り日~前日まで - 5000円 / 当日 - 全額 (子供も同額)         |       |                |
| 募集人員   | 45人(中学生いかは必ず保護者が同伴して下さい)                         |       |                |
| 募 集    | 4月1日~先着順 (申し込み・連絡先 ☎ 06-6-319-0630 小田)           |       |                |
| 締め切り   | 4月7日(水)  |       |                |

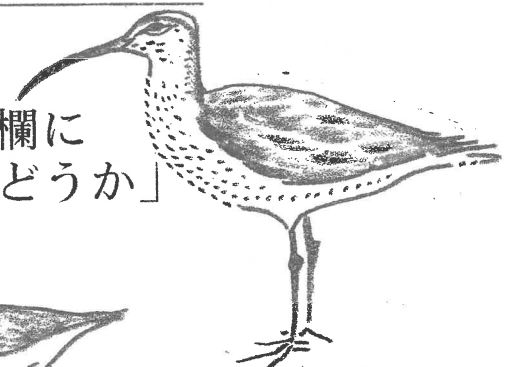
☆ 費用は4月8日までに郵便振替で通信欄に  
「住所・氏名・電話番号・年齢・会員かどうか」  
を明記のうえ振り込んで下さい。



イカルチドリ



ソリハシシギ



チュウシャクシギ

## シンポジウム「吹田の自然と環境保全」について

✎ 高島 耕一郎

今回のシンポジウムは、すいた市民環境会議・会員と吹田市民と一緒に「吹田の自然と環境保全」を考えるものでした。

吹田市で最大規模に残されている雑木林をもつ、紫金山公園を具体的な場所を選び、「10年後の紫金山公園のあるべき姿」を参加者が現地の様子を見ながら、より良い公園づくりを『市民の案を出しながら考えて行く』手法で進めて行きました。

3月14日(日) 9:50 より紫金山公園内にある吹田市立博物館の集会室で開始されました。参加者は58人になり、ワークショップを進めて行くうえで適度な人数になりました。

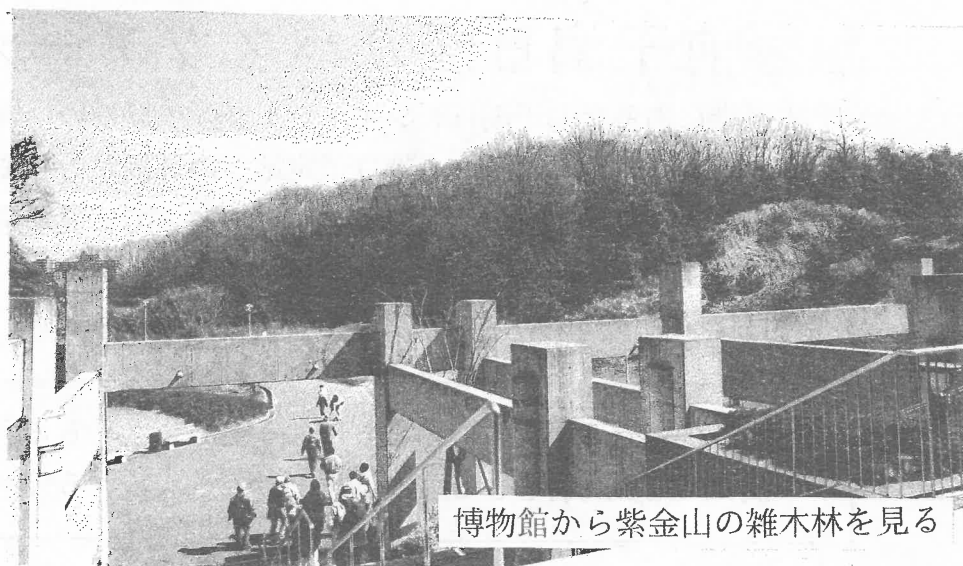
はじめに、釈迦ヶ池で明治初期に起こった実際の事件をテーマにした『カモと腹切り爺さん』の紙芝居をしました。

戦前までは3~4万羽のカモがこの釈迦ヶ池に来ていて、吹田村から朝廷への献上鴨として吹田慈姑(クワイ)と一緒に毎年奉納されていたそうです。参加者は、今とは違う釈迦ヶ池の姿に驚きながら、スタッフの熱演を楽しそうに見ていました。

その後、『釈迦ヶ池』『神社の歴史と景観』『雑木林』『紫金山と周囲の環境』の4テーマでグループに別れて班をつくり、午前中は紫金山公園内のフィールドワーク(現場での学習)を行いました。そこでは、実際に現場を見る中で、様々な問題点や改善点が話し合われました。

昼食は、吉志部神社の参集殿の二階で各自の弁当をひろげ、先ほど見てきた内容を話し合いながら食べました。

午後は博物館に戻り、さきほどの班でワークショップです。問題点と改善点をより詳しく話し合い模造紙2枚に絵や文でまとめました。その後、5分でまとめたものを発表します。短時間での討議とまとめでしたが、どの班もとても分かりやすく発表していました。この内容は今後の紫金山公園の在り方を考えるうえで貴重な提案を多数含んでいました。



博物館から紫金山の雑木林を見る

最後にそれらの報告を聞いて紫金山公園に係わる、それぞれ専門の立場から、

武田義明氏（神戸大学助教授・森林生態学）

成田靖穂氏（吹田市生活環境部長）

新名貞夫氏（吹田市緑化公園事務所長）

奥田富夫氏（吉志部神社宮司）

岡本敏男氏（岸部地区連合自治会長）

小田忠文氏（すいた市民環境会議会長）

の6名によるパネルディスカッションが行われました。

武田氏からは、「紫金山の雑木林は、吹田市にとっては大変貴重なものであるし、人との係わりで維持されて来たものであるから、放置せずにコバノミツバツツジなどの、花が咲くような手入れが必要であろう。」との提言がなされました。

成田氏や新名氏からは、「吹田市民が市民の立場から真剣に論議し、よりよい紫金山公園の在り方を考えておられるのには感謝している。貴重な意見として市の施策に反映できるものはしていきたい。」と述べられました。

奥田宮司や岡本氏は「子供時代から親しみ、大事にしてきた紫金山公園を新しい住民とともに、もっと大事にして行きたい」と述べられました。

会場からの質問も幾つかでて論議が深まる中、午後3:50閉会になりました。

参加された方が、それぞれ自分の意見を反映させることができた集会でした。

~~~~~

## 《 千里南公園のユーカリの木 》

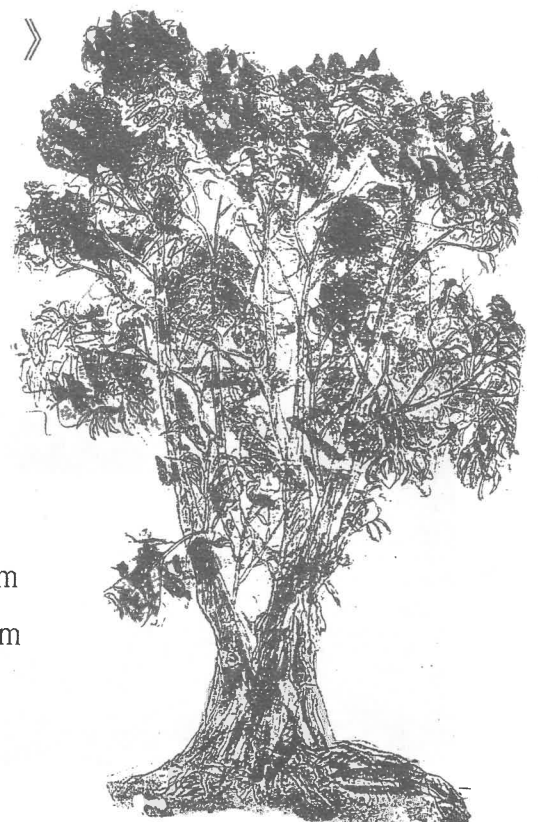
高川の水源といわれるこの公園には、たくさんのユーカリの木があります。オーストラリア原産のフトモモ科の常緑高木で高さ30mにもなり、6~7月に緑白色の花が咲きます。幼樹の葉は丸くて薄く対生で、成長すると鎌状になり、新鮮な葉からは薬用となる油がとれます。コアラが好きなものは別種です。

明治時代、日本に渡来し生長が早いので吹田では40年ほど前に植えられたものが多い。

◆樹高 20 m

◆幹回り 29.8m

✎ 浅田 都司男





## 神社の歴史と景観 班



博物館内の「どんじ祭り」の展示を見る

吉志部神社においては、現在「どんじ祭り」を復活させることに成功しており、神社を取り巻く社会環境はよいように思いました。シンポジウムの当日も境内は村の人達の催しに開放されており、活気が感じられました。宮司さんのお話からも「どんじ祭り」の伝統は10年後もしっかりと伝えられていそうです。何よりも神社と村の人たちのコミュニケーションが成り立っていることを感じました。

自然環境においては「どんじ祭り」に使用されるマコモ(植物名)が現在、神社の近くでは採れないそうです。釈迦ヶ池でマコモが採取され、神事に使われるのが望ましい姿であろうというのが全員の意見でした。

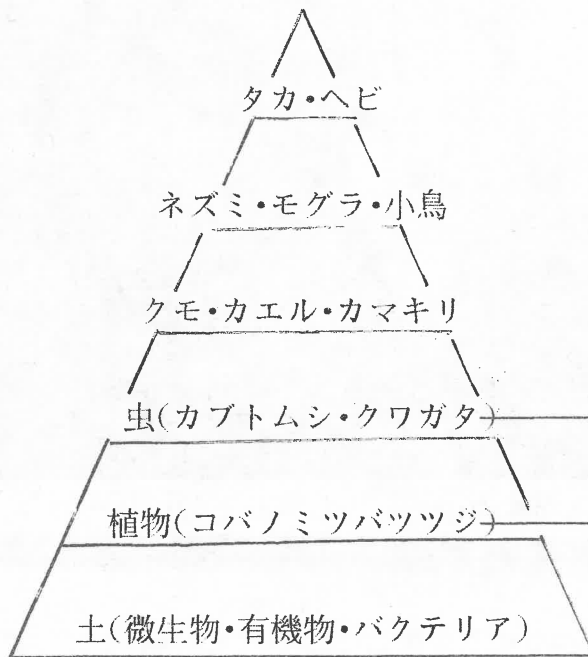
また、神に供えるための食物も以前は「頭田」と呼ばれる田で作られていたそうです。神社を取り巻く自然環境の復元も、神社の伝統を守る重要な要素の一つだと考えられます。

最近、神社の周りの里山管理を、役所と市民ボランティアが始めましたが「コバノミツバツツジがこの山に復活したとき、村の人と山で歌い、酒を酌み交わし、岸部の文化を取り戻したい。それを10年内の仕事の一つにしたい」と宮司さんも言われていました。

／ 草野 弘靖

## 雑木林 班

土・水・植物がいかに多様性を育み、豊かな雑木林を作るかを考えました。



### 『都市型里山公園の理想』

- ◎ 秩序ある、きめの細かい管理。
- ◎ これからの里山管理は、樹・鳥・虫など多様な生物の共生も必要。

- ◎ 人が作業をすることで、  
コミュニティづくりの場所に。



人が親しむと次世代にもつながる

根が露出——土砂対策が必要



✍ 秋山こずえ

## 紫金山と周囲の環境 班

《 計画中の府道『豊中岸辺線』が通ると周囲の環境はどのように変化するか 》  
に絞って考えてみました。

前日とは様変わりの小春日和で、スタートが早かったこともあり、ゆっくりと時間をかけて博物館前からコバノミツバツツジの小高い丘に登り、名神高速道路ごしに五月が丘方面の府道を観察し、博物館前の起伏する地形をながめて10年後の状況を想像。

児童公園付近からは、「残してほしい水田・小池・参道の並木」を一望して公園東端の四阿屋に至り、途次通り掛りの「須恵器窯」の保存状況を見て憤慨する一幕も。

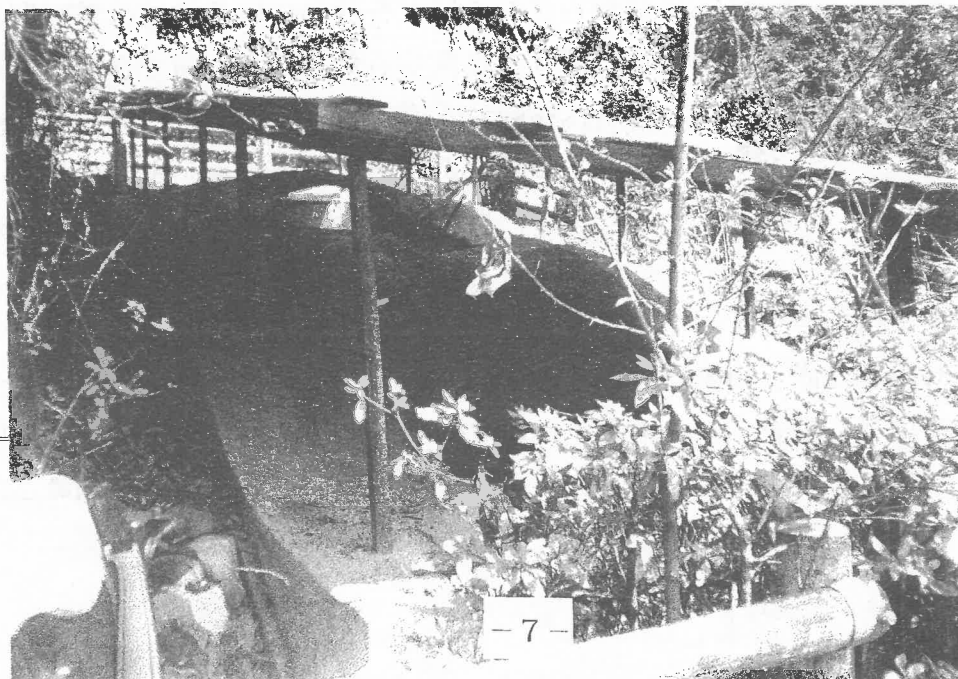
午後は「計画中の府道が着工されると、コナラ・アカマツ林の一部が崩され、豊津千里丘線との交差点で発生する排ガス・騒音が近くの小学校や住宅地に流れ、更に神社参道を横切ることによって松並木の景観が台無しとなる。

これらを防止する有効な手段は五月が丘団地部分から参道部分までのトンネル化以外には考えられず、これが不可能な場合は「道路計画の中止」を望むという方向で議論は落着。

ワークショップのまとめも発表も上々の出来？自画自賛しています。

浅田 都司男

吉志部瓦窯跡／平安京宮殿の瓦を焼いた



# ——1999年度幹事立候補を受け付けます——

「すいた市民環境会議」は毎月の定例幹事会で運営されています。設立して3年目の1999年度は「すいた市民環境会議」の在り方が決まってくる大切な時期です。幹事として活動してみようと思われる方は立候補してください。

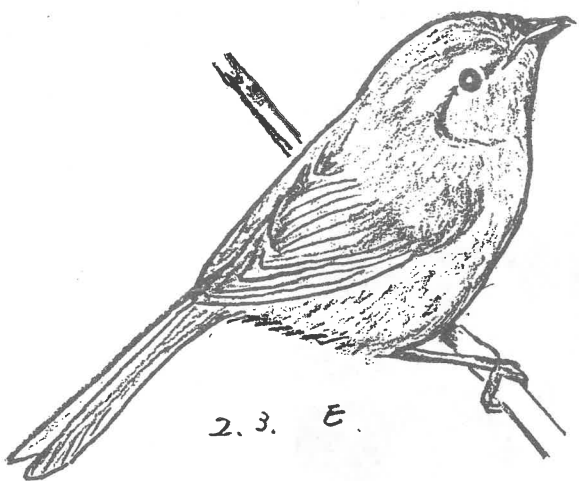
- ◎ 98年度幹事で選考し、総会で承認を受けます。
- ◎ 毎月の定例幹事会に出席可能なことが条件です。(原則として毎月第3土曜日)

☆ 立候補者は『氏名・性別・年齢・住所・職業・所属団体・立候補理由』を明記のうえ 4月10にちまでに事務局まで郵送してください。

|       |    |          |             |
|-------|----|----------|-------------|
| 第3回総会 | 日時 | 5月30日(日) | 14:00~16:00 |
|       | 場所 | 吹田市民会館   | 大集会室        |

## ~~~~~ 《 吹田市の鳥 no. 8 》

ウグイス [鶯] (ヒタキ科) ウグイスは春告鳥とも言われており、「ホーホケキョ」と聞きなし(さえずりを人間の言葉におきかえること)されている美しい声がひびくと春が来たことを実感できる鳥である。



2. 3. E.

冬の間は、住宅地の庭先や公園の常緑樹の中において「チャッ・チャッ」と舌打ちするような声(地鳴き)を出しながらクモや昆虫を探している。雄は繁殖期になるとなわばりを宣言するために高い声でさえずるが、子育て場所へ移動する直前の4月頃、一冬過ごした住宅地や公園近くの竹やぶなどで「ホーホケキョ」と歌の練習を開始する。ウグイスは平野部ではなく箕面など北摂山地に移動して子育てをするので、5月のゴールデンウィーク

の頃にハイキング道でさえずっているウグイスの中に、吹田市で歌の練習をしていたのがあるかも知れません。尚 めでたいものを組み合わせた絵に「梅に鶯」があるが、梅に来る鳥はウグイスではなく蜜をすいに来るメジロなので「梅に目白」が正しい、と思われる。

平 軍 二



# 大木と吹田の散策みち

## 千里緑地みち

◆日時 1月23日(土) 9:30~12:00 ◆集合場所 阪急南千里駅改札口 ◆参加人数 20人

### 千里緑地みち散策に参加して 岡村 昇二

千里緑地は、ニュータウンの開発のとき周辺緑地として、自然をそのまま残した所です。高野台に住む私にとって、このあたりは言わば地元で、日常の散歩の範囲です。だから此処のことはよく知っているつもりでした。しかし、講師の説明を聞きながら歩いて、樹木・野草・野鳥など新しい知識と感動で、この地を再認識しました。

まず、高町池周辺は、吹田市最大のホタルの生息地で、5月の中旬には600匹以上のヒメボタルが乱舞すると聞きました。あかりのないことが繁殖の条件だそうです。

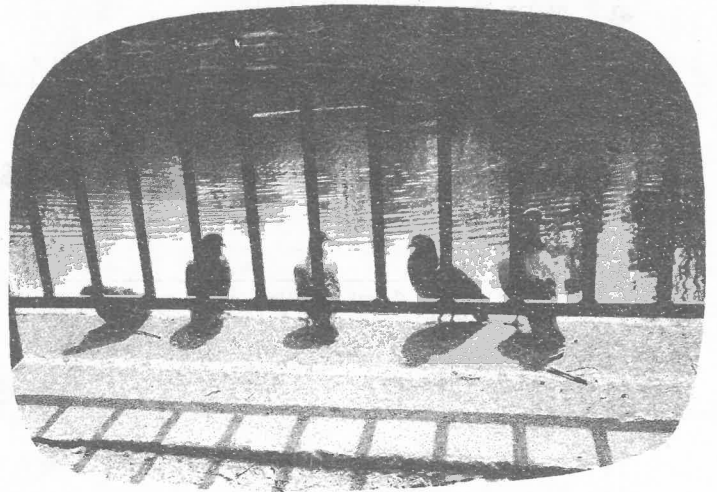
小池には、注意深く見るとマガモ・コガモ・バンなどの水鳥が、葦の陰に思いのほかたくさん隠れていました。

自然の雑木林や湿地が残り、植物の種類も多く、したがって昆虫も野鳥も多いこの地は、自然が少ない吹田市にとって、残された貴重な場所であることがよく分かりました。

ところが、この高町池に面した民有地に9階建のマンションの計画があるのです。これができれば、ホタルはどうなるのでしょうか。

また、釣り人が捨てたテグスが足に絡まり、指を失った鳩を何羽も見ました。

行き過ぎた開発を抑制して、自然との共生を図って行きたいものだ、改めて感じた散策みちでした。



### 一緒に歩きませんか

- 佐井寺・紫金山公園みち
- 日 時 5月22日(土)am9:30~12:00
- 集合場所 佐井寺バス停  
(阪急バスJR吹田から桃山台ゆき)
- 持ち物 水筒・双眼鏡
- 参加費 500円



## 1999年度会費納入のお願い

'99年度会費は1999年4月～2000年3月分となります。同封の郵便振込用紙で、'99年度会費と記入のうえ、1年分1000円(法人会員は10000円)を振り込んでくださいますようお願い致します。

☆ 皆様の会費納入済み分は封筒の宛名左下に数字で印字してあります。  
98とあれば、98年度分は納入済みという意味です。

よろしくお願い致します。

会 計

## すいた市民環境会議の最近の活動

- ◆ 環境教育フェア実行委員会出席
- ◆ 「摂津市環境保全団体発表会」出席
- ◆ 紫金山里山作業
- ◆ 配慮指針を作る会⑤⑥
- ◆ 吹田市環境審議会出席
- ◆ シンポジウム「吹田の自然と環境保全」開催

環境問題、自然・歴史・文化の保全、創成を考える市民組織

### すいた市民環境会議 入会受付中！

- ◆ 年会費 個人会員1000円／法人会員10000円
- ◆ 振り込み先 00980-3-28845 すいた市民環境会議